



# 楽 楽

平成 24 年 7 月号  
広報担当：松本<http://www.asahikonsei.com/>

## ◆ 練習スケジュール

| 月／日  |         | 会 場              | 時 間         | 備 考               |
|------|---------|------------------|-------------|-------------------|
| 7 月  | 21 日(土) | 旭丘公民館            | 19:00~21:00 |                   |
|      | 28 日(土) | 〃                | 〃           | 18:00~ヴォイトレ(男声対象) |
| 8 月  | 4 日(土)  | 〃                | 〃           | 18:00~ヴォイトレ(女声対象) |
|      | 11 日(土) | 〃                | 〃           |                   |
|      | 19 日(日) | 〃                | 〃           |                   |
|      | 26 日(日) | 〃                | 〃           |                   |
| 9 月  | 1 日(土)  | 瀬戸市文化センターにてリハーサル |             |                   |
|      | 2 日(日)  | 瀬戸合唱フェスティバル      |             |                   |
|      | 9 日(日)  | 旭丘公民館            | 19:00~21:00 |                   |
|      | 15 日(土) | 〃                | 〃           |                   |
|      | 22 日(土) | 〃                | 〃           |                   |
|      | 30 日(日) | 〃                | 〃           |                   |
| 10 月 | 6 日(土)  | 中央公民館軽音楽室1       | 〃           |                   |
|      | 13 日(土) | 旭丘公民館            | 〃           |                   |
|      | 20 日(土) | 本地ヶ原公民館          | 〃           |                   |
|      | 27 日(土) | 旭丘公民館            | 〃           |                   |

## ◆ 役員会だより

### 6 月 3 0 日 拡大役員会が開かれました

神谷先生にも出席していただき、第9回の演奏会のアウトラインと、具体的な目標と活動の概要を話し合い、以下の通り方向付けが出来ました。

- 1、第9回演奏会の時期：2014年（H26）夏～秋頃を目標にする
- 2、パトリを中心に練習日以外に、ボイトレ、自主練習、アンサンブル訓練を男女別に行う。
- 3、選曲のポイント、全体構成としては多様性と特に若い世代にアピールする選曲、歌う側の思いと聴く側の受け入れ易さを考慮した選曲。
- 4、3ステージ構成とする。1ステージはミサ曲（ア・カペラ）とし、残り2ステージは日本語作品とする。神谷先生のアレンジで「心にしみる日本のうた」で1ステージを作りたい。
- 5、演奏会のステージ(案)としてはA、B、C、の3案が叩き台として提案されましたので、皆さんと相談しながら進めて行きたいと思います。



## ◆ 第28回瀬戸合唱フェスティバル

日 時：9月2日（日） 場 所：瀬戸市文化センター文化ホール

曲 目：①君をのせて

②やさしさに包まれたなら

③Kyrie - Christe - Kyrie

④Agnus Dei II

### <タイムスケジュール>

▽9月1日（土）リハーサル

|             |             |
|-------------|-------------|
| 集 合：19：00   | リハーサル室1前    |
| 19：10～19：40 | リハーサル室1にて練習 |
| 19：40～20：10 | 舞台にてリハーサル   |
| 20：10～21：00 | リハーサル室1にて練習 |

▽9月2日（日）フェスティバル当日

|             |           |
|-------------|-----------|
| 集 合：10：00   | リハーサル室1前  |
| 10：10～10：40 | 声出し 練習    |
| 開 演：11：00   |           |
| 12：00～12：15 | 旭混声合唱団 本番 |

全員合唱：13：00 ①上をむいて歩こう

②ふるさと

#### ▼衣裳：女性、男性とも

・白シャツ or Tシャツと白パンツ  
または  
・黒シャツ or Tシャツと黒パンツ  
(白か黒で統一、半袖、スパンコール、装飾品等はつけない)

#### ▼控室

女性：リハーサル室2

男性：リハーサル室3

## ◆ ◎2012年 愛知県合唱祭の感想が4通寄せられました。

我が団に寄せられる感想は例年4～5通ですが、寄せられる感想と演奏レベルは正比例すると考えられます。来年は10通以上を目指しましょう。今回寄せられた感想は、いずれも合唱経験の豊かな方々からの感想です。主催者制作の音源に落胆していた皆さんへ朗報です。

★ ソプラノの声が透き通るようで教会で聞いている様な“Agnus Dei II”でした。ベースの響きも安定していて、特に最後のアーメンのあとの響きがきれいでした。ユーミンの曲は面白いアレンジで言葉も良く聞こえました。

女声60歳合唱歴20年

★ “Agnus Dei II”は男女のハーモニーが良く響き、心地良い歌声でした。バランスも良く聴けました。

“やさしさに包まれたなら”はピアノに乗ってよく歌っています。男性の声がやや弱いかも知れません。

男性75歳合唱歴15年

★ “Agnus Dei II”はとても響きが美しく、混声ならではの深みがあった。“やさしさに包まれたなら”では いっぺんに明るい曲で、縦を大切にしているなと思いました。とても素晴らしい合唱でした。

楽譜を持つところを統一した方がキレイに見えると思います。

女性16歳合唱歴3年

★ ハーモニーがきれいでした

女性38歳





## 【おせっかい豆辞典】

### 宗教音楽というものは！

宗教音楽といえば、キリスト教やその他の宗教に関わる音楽を指すのでしょうか、その多くはキリストの教会音楽と言っていいでしょう。音楽そのものの生い立ちは本来宗教とは関係なく人間本来の感性の表れであって、いわば“神からの神秘的な贈り物”の筈です。

宗教音楽と対比されるのは世俗音楽と呼ばれ土地に根ざした民謡などとして民衆に育てられたものや信仰以外の動機で誕生したものとなるでしょうか、古くは吟遊詩人(トルバドゥーレ)の手によるものから教会や宮廷の音楽家の作品まであるようですが、宗教的題材によりながら教会で演奏されない音楽例えばヘンデルのメサイアなどは世俗音楽とっていいのではないのでしょうか？

近代までの音楽の世界では、教会音楽と対比されるものとしては、宮廷音楽がありますが、宮廷内の宗教儀式のためや貴族の楽しみのための音楽としてプロの音楽家によって提供されたものです。かつて、宮廷と縁のない民衆が音楽を楽しむには町の音楽士の演奏以外には教会で提供される質の高いプロの演奏を聞くしかなかった訳で、キリスト教は“歌う宗教”として教会音楽を通して民衆の癒しに貢献したようです。

ところで音楽には楽譜が付きものですが、音楽の発祥とともにあったわけではなく人為的に作り出されたことはご承知のとおりです。楽譜を考案したのはキリスト教の坊さんです、我が国にも“博士(ハカセ)”とよばれる“声明(ショウミョウ)”の楽譜が仏教の坊さんによって作られ音の高さ・長さの記録に活用されたようでした。そして、初めの頃の楽譜(ネウマ譜)は“ミズ”がはい回っているような線のない記号の集まりでした、ここまでは我が国の“博士”と変わりがなかったようですが、1本の線が加わりやがて5線となり、音の高低・長短を記録するこの形式の楽譜が音楽の伝承と発展に計り知れない貢献をしたことは、明らかにキリスト教音楽の功績といえるでしょう。

音楽教育についてもキリスト教が果たした役割は無視出来ません。幼少からバッハやシューベルトなどのような逸材に英才教育がなされ、政治・宗教の権威と財力によって手厚く保護されるに至っては、教会音楽が飛躍的に発展したこと宜なるかなといえるでしょう。西洋音楽にあって後生名を残しながら教会音楽と無関係な音楽家はあまり無いのではと思われませんが、教会祭事を離れて民衆の心に染みこんでいった作品は少なくありません。今では、バッハの“ミサ曲口短調”やモーツァルトの“レクイエム”などの名曲が教会で聞かれるよりも世俗的な劇場で演奏されることの方が多くなっていて、現在の心は究極にある“信仰を超える普遍性”が音楽を通して演奏するものや聴くものにとって“神秘的な贈り物”として響くことから社会に受け入れられるようになったのではないのでしょうか？

私事で恐縮ですが、合唱に魅せられた坊主頭の高校生のころ“教会音楽”といえば拒否反応があった記憶があります。モーツァルトの「Ave verum corps」に出会うまでは、

正直、今でも直視するには、ややタメライがありますが、博学慧眼の指導者を得て音楽の普遍性に触れることが出来ることに感謝しています。(T 林)

\*\*\*\*\* ◆イベント情報◆ \*\*\*\*\*

### ★富久田治彦プロデュースによる室内楽シリーズ第14回

“ひとはな on CLASSIC”「ひとはな四重奏団」宗次ホール ランチタイム名曲コンサート

＊日 時：2012年8月4日(土) 11:00 開場 11:30 開演～(12:30 終演予定)

＊会 場：宗次ホール(名古屋市中区栄 4-5-14 地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分)

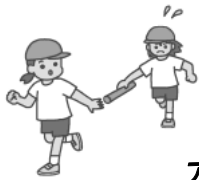
＊入場料：¥1,000(全自由席)

＊演奏曲：ドブラー：ノクターン テレマン：協奏曲イ短調 クロンマー：コンチェルト

◎“ひとはな”とは、メンバー各氏のお名前の頭文字をとり名付けられたとのことです。

石川ひとみ(ピアノ)、矢口十詩子(ヴァイオリン)、富久田治彦(フルート)、山本直人(オーボエ)、

※問合せ、チケットの購入は、石川ひとみ先生までどうぞ。



## ～こころをつなぐインタビューリレー～

アルトの前川さんからのバトンパス、

今回のランナーはソプラノの波多野陽子さんです。

《前回のランナー、前川さんからのインタビューです。》

■今年度、ソプラノのパートマネージャーを引き受けられました。抱負をひとこと！

何も分からないまま急に引き受けることになって・・・。前マネージャーの方にいろいろ教えていただいています。皆様のご協力をお願いいたします。

《広報からお聞きしますね。》

■ご出身は？

北海道の小樽です。小学生の頃までおりました。もう少しそちらで暮らしていたらスキーが上手になれたのにと、ちょっと残念です。親戚が多く北海道におりますので今も1年に1度くらいは渡道いたします。

■好きなことやものは？

好きな色はレッド、ピンク、イエローです。食べ物はあまり好き嫌いなく何でも食べますが、甘いものや肉は好きです。それに北海道生まれですのお魚は何でも好きです。クラシック音楽の鑑賞は若い頃からずっと好きです。よく会社帰り音楽喫茶に寄ったものです。

■続けていらっしゃることは？

卓球は尾張旭市の体育館で15年くらい続けています。健康にいいですよ。シャンソンもはじめて5～6年になります。つい最近も「あさひのホール」で発表会がありました。ハーモニカのグループにも入っていて、福祉施設を訪問させていただいたりしています。他に書道や英会話も続けていますよ(＃^。^＃)。

■ご自分の長所だと思われるところは？

長所かどうか分かりませんが潔癖症的なところはあります。あと、他人のことはあまりいろいろ言わないようにしています。

■合唱を始められたきっかけは？

中学の時から歌うことが好きで、コーラス部にはいっていました。それからもう何年になるでしょうか。旭混声に入団する前は「グリーンエコー」に所属していました。

■お心に残っている出来事をお話してくださいな。

若い時は登山をしていましたが、焼岳に登った時、つかまる木がなく転げ落ちるという危険なめに会いました。

■団員の皆様におススメしたいことは？

歩くことですね。私はお稽古ごとほとんど歩いて通っています。あと、朝のラジオ体操はおススメです。

■団への思いをひとこと。

この団が持っている温かい雰囲気を大切にして、先生のご指導のもと皆さんで頑張りましょう。

《焼岳で転げ落ちられて大丈夫でしたか！？登山、卓球、ウォーキングと、スポーツ系もお得意ですね。

お元気！！♡(\*^\_^\*)》植村

